

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 7 月 22 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	重度化が進む認知症の人の暮らしのなかで、自己決定が出来ず自分らしい姿や振る舞いを表す事が次第に困難になっていく入居者の代弁機能を果たすことをケアの心得として支援していく必要がある。	入居者の意思の確認とプライバシーの尊重に配慮し接する。 入居者を尊重する姿勢を大切にし、その人なりに出来る事を得意技として行ってもらいながら敬意を表する。	より良いチームケアを目指す為には、職員間の一体的な関係の構築と豊富な経験を活かしながら知識や学び、情報収集を行い、質の向上を図り暮らしの支援に役立ていきたい。	12ヶ月
2	35	災害時「想定外」の場面においても混乱しない精神力、適切な行動、判断ができるように、日頃から準備や訓練に取り組んでいく必要がある。また災害が起こり避難生活を送るとなった場合の入居者のケア等、様々な視点から状況分析や取り組みを検討しておく必要がある。	年2回の避難訓練以外にも定例会議の中で「瞬時に行動に移す、救助する」という訓練の場を設けていく。災害対策に向けた日常的な備えや避難行動、また外部からの緊急支援体制の整備を行う。	本番さながらの訓練(年2回)以外に、運営推進会議等の中で情報を収集し、地域の方々との信頼関係を深めていく。行政機関とのつながりも大切にしていく。夜間一人体制のなかでマニュアルの把握の徹底も図っていきたい。	12ヶ月
3	1	認知症の人のケア、接し方に戸惑ったら理念に立ち戻り、振り返ることを忘れず生き生きと働くためにもこれからも理念を忘れず取り組んでいく。	認知症の人の安全・安心の確保、その人の力を発揮して頂きながらその人らしい日常生活をその人のペースに合わせた支援提供をチームで行っていく。	認知症の人の視点に立った関わりの中で、一人ひとりの個性を大切に「やらされた感」なく楽しめ、自分達も楽しみながら支援し、やりがいを感じられる効果へと繋げていきたいと考える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。